

# VMware vSphere® 製品ライン比較

従来型アプリケーションと次世代型アプリケーションに対応した、  
エンタープライズワークロード対応プラットフォーム

## 主な特長

	vSphere® Standard™ (無期限 ライセンス)	vSphere® Enterprise Plus™ (無期限 ライセンス)	vSphere® Standard (オンプレミス /サブスクリ プション)	vSphere® Enterprise Plus (オンプレミス /サブスクリ プション)	vSphere+™ Standard¹ (クラウド ベースサブス クリプション)	vSphere+™¹ (クラウド ベースサブス クリプション)
オンプレミス	対応	対応	対応	対応	対応	対応
クラウドとの接続	非対応	非対応	非対応	非対応	対応	対応
ライセンスモデル	無期限 ライセンス	無期限 ライセンス	期間限定 ライセンス	期間限定 ライセンス	サブスクリ プション	サブスクリ プション
ライセンス管理	必要	必要	必要	必要	不要	不要
ライセンスメトリック	CPU単位	CPU単位	コア単位	コア単位	コア単位	コア単位
vCenter Standard	別途 ライセンスの 購入が必要	別途 ライセンスの 購入が必要	含まれる	含まれる	含まれる	含まれる

## 管理者向けサービス

	vSphere® Standard™ (無期限 ライセンス)	vSphere® Enterprise Plus™ (無期限 ライセンス)	vSphere® Standard (オンプレミス /サブスクリ プション)	vSphere® Enterprise Plus (オンプレミス /サブスクリ プション)	vSphere+™ Standard <sup>1</sup> (クラウド ベースサブス クリプション)	vSphere+™ <sup>1</sup> (クラウド ベースサブス クリプション)
Cloud Console IT 管理者は一元化された Cloud Console を 使用して、vSphere 環境全体を統合管理できる。					✓	✓
グローバル インベントリ サービス vSphere 環境全体にわたるリソースの使用状況を 迅速に把握できるように、vSphere のリソースと キャパシティのインベントリを視覚化できる。					✓	✓
イベント ビュー サービス イベントとアラートが1つのビューにまとめて表示 されるため、vSphere 環境全体にわたって、注意が 必要とされる領域を即座に見分けることができる。					✓	✓
セキュリティ健全性チェック サービス vSphere インフラストラクチャ全体のセキュリティ ポスチャを評価して、セキュリティ上の脆弱性や リスクを特定できる。					✓	✓
仮想マシン プロビジョニング サービス VMware Cloud Console から、任意の管理対象 クラスタに仮想マシンを迅速にプロビジョニングする ことができる。					✓	✓
ライフサイクル管理サービス vCenter インスタンスのライフサイクル管理が 簡素化され、ワンクリックでの管理が可能。 メンテナンス ウィンドウが短縮されることで、 アップデートのスケジュールの前倒しが簡単になる ため、新しい機能をより早く利用できる。					✓	✓
構成管理サービス vSphere 環境全体で vCenter の構成を標準化 およびカスケードできる。vCenter の構成エラーを 自動的に検知、修正できる。					✓	✓
キャパシティ視覚化サービス 使用可能なキャパシティと、クラスタがキャパシティ 不足になるまでの残り時間を把握できる。					✓	✓

## 開発者/DevOps 向けサービス

	vSphere® Standard™ (無期限 ライセンス)	vSphere® Enterprise Plus™ (無期限 ライセンス)	vSphere® Standard (オンプレミス/ サブスクリプション)	vSphere® Enterprise Plus (オンプレミス/ サブスクリプション)	vSphere+™ Standard <sup>1</sup> (クラウド ベースサブス クリプション)	vSphere+™ <sup>1</sup> (クラウド ベースサブス クリプション)
<b>Tanzu Kubernetes Grid™ サービス</b> Tanzu Kubernetes Grid Service を使用すると、開発者は、一貫性、コンプライアンス、適合性を備えた Kubernetes クラスタを利用できる。				✓		✓
<b>Tanzu 統合サービス</b> ローカルおよびクラスタ内のプラットフォームサービス(ログ収集、監視、ネットワーク、ストレージなどの各種サービス)のデプロイと管理を効率化することで、本番環境対応の Kubernetes 環境を容易に構成して維持できる。				✓		✓
<b>Tanzu Mission Control™ Essentials</b> Kubernetes フットプリント全体を グローバルに可視化し、ライフサイクル管理、アクセス、セキュリティ管理などの運用業務を自動化できる。						✓
<b>Cloud Consumption Interface</b> DevOps チームと開発チームが IaaS サービスに迅速かつ容易にアクセスできる。vSphere Cloud Infrastructure 全体の IaaS サービスへのセルフサービス アクセスを直感的な Cloud Console から管理できる。						✓
<b>vSphere Pod Service</b> vSphere Pod Service を使用すると、開発者はハイパーバイザー上で Kubernetes コンテナを直接実行して、セキュリティ、パフォーマンス、管理性を高めることができる。				VMware NSX-T が 必要		VMware NSX-T が 必要
<b>ストレージ サービス</b> ストレージ サービスを使用すると、開発者はコンテナ、Kubernetes、仮想マシンで使用するパースistent ディスクを管理できる。また、コンテナ化されたワークロード用に、既存のブロック ストレージやファイル ストレージのインフラストラクチャをデプロイできる。				✓		✓
<b>ネットワーク サービス</b> ネットワーク サービスを使用すると、開発者は仮想ルータ、ロードバランサー、ファイアウォールのルールを管理できる。vSphere Distributed Switch (VDS)の統合インターフェイスを使用して既存のネットワーク インフラストラクチャを活用し、仮想マシンと Kubernetes のワークロードのスイッチ アクセスを構成、監視、管理できる。				✓		✓

## 開発者/DevOps 向けサービス(続き)

	vSphere® Standard™ (無期限 ライセンス)	vSphere® Enterprise Plus™ (無期限 ライセンス)	vSphere® Standard (オンプレミス/ サブスクリプション)	vSphere® Enterprise Plus (オンプレミス/ サブスクリプション)	vSphere+™ Standard¹ (クラウド ベースサブスクリプション)	vSphere+™¹ (クラウド ベースサブスクリプション)
レジストリ サービス レジストリ サービスを使用すると、開発者は Docker コンテナ イメージと OCI コンテナ イメージを保存、管理、保護できる。				VMware NSX-T が必要		VMware NSX-T が必要
ネットワーク ロードバランシング Tanzu Kubernetes クラスタ対応のネットワーク ロードバランシング。				✓ NSX Advanced Load Balancer Essentials が含まれる		✓ NSX Advanced Load Balancer Essentials が含まれる
VM サービス VM サービスを使用すると、開発者は vSphere Client にアクセスすることなく、Kubernetes 環境から独立して仮想マシンを作成できる。				✓		✓
ワークロード アベイラビリティ ゾーン アベイラビリティ ゾーンにより、Kubernetes ワークロードの HA を強化できる。複数のクラスタや、より大きな地域にまたがるレジリエンスを提供。				✓		✓
TKG クラスタのライフサイクル管理の簡素化 TKG クラスタのデプロイ時にクラスタを簡単に構成できる。Kubernetes アップストリームに対応の ClusterClass を通じて、TKG クラスタ環境を宣言的に構成。				✓		✓
TKG クラスタのパッケージ管理 TKG クラスタのパッケージを容易に管理できる。Carvel と Tanzu CLI により、必要なパッケージを選択して TKG クラスタを構成できる。				✓		✓
カスタマイズ可能なベース OS イメージ ベース OS イメージをカスタマイズすることで、迅速で一貫性のあるデプロイが可能。たとえば、イメージをカスタマイズして、ログ収集やモニタリングのツールを含めること、OS パラメーターの変更、ユーザー構成ファイルの調整、ファイアウォールのルールの追加などができる。				✓		✓

## 運用の簡素化

	vSphere® Standard™ (無期限 ライセンス)	vSphere® Enterprise Plus™ (無期限 ライセンス)	vSphere® Standard (オンプレミス/ サブスクリプション)	vSphere® Enterprise Plus (オンプレミス/ サブスクリプション)	vSphere+™ Standard <sup>1</sup> (クラウド ベースサブス クリプション)	vSphere+™ <sup>1</sup> (クラウド ベースサブス クリプション)
次世代のインフラストラクチャ イメージ管理 望ましい状態のモデルを用いてインフラストラクチャ イメージを管理し、ESXi クラスタのパッチ適用、アップデート、アップグレードを実施。	✓	✓	✓	✓	✓	✓
vCenter Server® プロファイル vCenter Server の望ましい状態の構成を管理する機能。構成の定義、検証、複数の vCenter Server への適用が可能。		vCenter Server STD が必要	✓	✓	✓	✓
vCenter Server Update Planner vCenter Server をアップグレードする際の互換性と相互運用性を管理できる。相互運用性と事前チェックのレポートを生成して、アップグレードの計画時に活用できる。		✓	✓	✓	✓	✓
コンテンツ ライブラリ 運用管理とバージョン管理の機能の追加。仮想マシン テンプレート、仮想アプライアンス、ISO イメージ、スクリプトをシンプルかつ効果的に一元管理できる。	✓	✓	✓	✓	✓	✓
Configuration Profiles クラスタ レベルでホストの構成を設定し、ホストがそれに準拠しているかどうかを検証して、準拠していないホストを修正できる。	✓	✓	✓	✓	✓	✓
Distributed Switch™ クラスタレベルのネットワーク統合を使用して、プロビジョニング、管理、監視を一元化。		✓		✓		✓
ホスト プロファイルおよび Auto Deploy™ ホスト レベルで構成設定をキャプチャしてテンプレートとして保存し、ほかの vSphere ホストの構成時に利用できる。ホストの構成変更を監視し、ホストがコンプライアンス違反の状態になった場合は自動的に vSphere 管理者にアラートを通知。		✓		✓		✓
Virtual Volumes™ 外部ストレージ(SAN および NAS)を仮想化し、vCenter Server を通じて、仮想マシンを識別するポリシーベースのストレージ管理機能を提供。	✓	✓	✓	✓	✓	✓
グリーン指標 ワークロード、インフラストラクチャ サービス、アイドル時の消費電力を、ホストまたは仮想マシンのレベルで把握できる。1)消費電力が多いワークロードの二酸化炭素排出量の最適化、2)アイドル時間を考慮したワークロードの統合、などの可能性を確認できる。	✓	✓	✓	✓	✓	✓

## 組み込みのセキュリティ機能

	vSphere® Standard™ (無期限 ライセンス)	vSphere® Enterprise Plus™ (無期限 ライセンス)	vSphere® Standard (オンプレミス /サブスクリ プション)	vSphere® Enterprise Plus (オンプレミス /サブスクリ プション)	vSphere+™ Standard¹ (クラウド ベースサブス クリプション)	vSphere+™¹ (クラウド ベースサブス クリプション)
ADFS および Okta による ID フェデレーション セキュアなアクセスとアカウントの管理。	✓	✓	✓	✓	✓	✓
vSphere Trust Authority 機密性の高いワークロードに対するリモート構成証明。		✓		✓		✓
TPM 2.0 のサポートと仮想 TPM TPM 2.0 ハードウェア モジュールをサポートし、 仮想 TPM デバイスを追加することで、ゲスト OS を オペレーターやゲスト内の攻撃から遮断して保護。	✓	✓	✓	✓	✓	✓
FIPS 140-2 コンプライアンスと TLS 1.2 の サポート デフォルトでセキュリティ コンプライアンスを強化。	✓	✓	✓	✓	✓	✓
仮想マシンの暗号化 仮想マシンのデータとディスクの保存データを暗号化。		✓		✓		✓
MSFT VBS のサポート Windows 10 および Windows 2016 のセキュリティ 機能(Credential Guard など)を vSphere でサポート。	✓	✓	✓	✓	✓	✓
仮想マシン単位での Enhanced vMotion Compatibility クラスタ間での移行時やパワーサイクル時に 仮想マシン単位で EVC モードを維持することで、 ハイブリッドクラウド全体で異なる CPU 間での シームレスな移行が可能。	✓	✓	✓	✓	✓	✓
Instant Clone プロビジョニングの所要時間を短縮 (特に VDI アプリケーションでメリット)。	✓	✓	✓	✓	✓	✓
vSphere Client による NSX のセキュリティ 設定の簡素化² NSX のセキュリティを設定および構成するための タブを vSphere Client に追加。	✓	✓	✓	✓	✓	✓

## アプリケーションのパフォーマンス

	vSphere® Standard™ (無期限 ライセンス)	vSphere® Enterprise Plus™ (無期限 ライセンス)	vSphere® Standard (オンプレミス /サブスクリ プション)	vSphere® Enterprise Plus (オンプレミス /サブスクリ プション)	vSphere+™ Standard¹ (クラウド ベースサブス クリプション)	vSphere+™¹ (クラウド ベースサブス クリプション)
NVIDIA による AI 対応エンタープライズ プラットフォーム vSphere と NVIDIA AI Enterprise Suite を利用して AI/ML アプリケーションを提供できる。		✓		✓		✓
Distributed Resource Scheduler™ (DRS) ワークロード中心の思想で再設計されており、ワー クロードに割り当てられているリソースを対象に vSphere クラスタ内で再配置(以前の DRS は クラスタ全体の負荷を考慮した偏差モデルを採用)。 結果としてサイクル時間も短縮。		✓		✓		✓
Storage DRS™ 自動ロードバランシング機能により、仮想マシンの データの作成時および使用時にデータの最適な格納 場所がストレージの特性を考慮して決定される。		✓		✓		✓
Distributed Power Management™ (DPM) 需要の少ない時間帯にホストをパワーオフするこ とで消費電力を最適化。		✓		✓		✓
Storage Policy-Based Management ポリシーベースのコントロール プレーンを使用して、 複数のストレージ階層にわたる共通管理と、ストレージ のサービス クラスの動的な自動化を実現。	✓	✓	✓	✓	✓	✓
Network I/O Control、Storage I/O Control ストレージ ボリュームとネットワークの I/O 負荷を 継続的に監視することでストレージとネットワー クへのアクセスの優先度を決定し、ビジネス ニーズに 合わせて利用可能な I/O リソースを仮想マシンに 動的に割り当て。		✓		✓		✓

## アプリケーションのパフォーマンス(続き)

	vSphere® Standard™ (無期限 ライセンス)	vSphere® Enterprise Plus™ (無期限 ライセンス)	vSphere® Standard (オンプレミス /サブスクリ プション)	vSphere® Enterprise Plus (オンプレミス /サブスクリ プション)	vSphere+™ Standard¹ (クラウド ベースサブス クリプション)	vSphere+™¹ (クラウド ベースサブス クリプション)
Single Root I/O Virtualization(SR-IOV)のサポート 1台のPCI Express(PCIe)アダプターを複数の別個の論理デバイスとして各仮想マシンに認識させることが可能。I/O処理の負荷を軽減し、ネットワーク遅延を低減できる。		✓		✓		✓
vSphere Persistent Memory™ Persistent Memoryを活用することで、DRAMと同等のパフォーマンスをフラッシュと同等の価格で実現。		✓		✓		✓
NVIDIA GRID vGPU AI/MLやグラフィックのワークロードを高速化。単一仮想マシンへの複数vGPUの割り当てをサポート。		✓		✓		✓
Proactive HA サーバの健全性に関する情報を取得し、問題が発生する前に、健全性が低下したホストから仮想マシンを移動。		✓		✓		✓
仮想マシン向けのグラフィックスアクセラレーション		✓		✓		✓
動的 DirectPath I/O vGPUとDirectPath I/Oによる仮想マシンの初期配置をサポート。	✓	✓	✓	✓	✓	✓
VMware vSphere® Distributed Services Engine™ DPU上でインフラストラクチャネットワーク機能を高速化。vSphereのワークフローへの統合により、DPUの管理に伴う運用上の負担を軽減。実績のあるvCenterインターフェイスを使用してDPUのアラートやパフォーマンスメトリックを確認できる。利用可能なCPUサイクルを活用することで、ホストごとのワークロード統合率が向上。		✓		✓		✓
Vendor Device Group 複数のPCIeデバイスをグループにまとめ、それを1単位として仮想マシンに割り当てることで、そのグループへのアクセスをユーザーが指定することが可能。		✓		✓		✓

## 事業継続性

	vSphere® Standard™ (無期限 ライセンス)	vSphere® Enterprise Plus™ (無期限 ライセンス)	vSphere® Standard (オンプレミス /サブスクリ プション)	vSphere® Enterprise Plus (オンプレミス /サブスクリ プション)	vSphere+™ Standard¹ (クラウド ベースサブス クリプション)	vSphere+™¹ (クラウド ベースサブス クリプション)
vSphere Hypervisor 本番環境で実績のある、堅牢で高性能の仮想化レイヤーを提供。	✓	✓	✓	✓	✓	✓
vMotion ユーザーに影響を与えたりサービスを停止したりすることなく、仮想マシンのライブマイグレーションが可能。サーバの計画的メンテナンス時のアプリケーションダウンタイムのスケジューリングを不要化。vMotionのロジックの強化により、仮想マシンのサイズにかかわらずシステムを停止させない運用が可能。特に、大規模でミッションクリティカルなワークロードに有効。	✓	✓	✓	✓	✓	✓
vCenter® Hybrid Linked Mode オンプレミスのvCenterや、VMware Cloud on AWSなどのvSphereベースのクラウド上にあるvCenter全体を、包括的に可視化および管理できる。	vCenter Server STD が必要	vCenter Server STD が必要	✓	✓	✓	✓
vSMP Virtual Symmetric Multi-Processing(SMP)により、仮想マシンに複数の仮想CPUを搭載可能。	✓	✓	✓	✓	✓	✓
High Availability(HA) 物理マシンに障害が発生した場合に、仮想マシンを自動的に再起動。	✓	✓	✓	✓	✓	✓
Storage vMotion 実行中の仮想マシンのディスクファイルをストレージアレイ間で移行することにより、ストレージの計画的メンテナンス時のアプリケーションのダウンタイムを排除。	✓	✓	✓	✓	✓	✓
Fault Tolerance ハードウェア障害が発生した場合でも、データの損失やダウンタイムを発生させることなく、すべてのアプリケーションの可用性を維持。最大4個の仮想CPUを使用するワークロードに対応。	仮想CPU 2個分	仮想CPU 8個分	仮想CPU 2個分	仮想CPU 8個分	仮想CPU 2個の 制限あり	仮想CPU 8個分
vShield Endpoint™ オフロード型のアンチウイルスおよびアンチマルウェアソリューションを利用することで、アンチウイルスエージェントを仮想マシンにインストールすることなく仮想マシンを保護。	✓	✓	✓	✓	✓	✓

## 事業継続性(続き)

	vSphere® Standard™ (無期限 ライセンス)	vSphere® Enterprise Plus™ (無期限 ライセンス)	vSphere® Standard (オンプレミス /サブスクリ プション)	vSphere® Enterprise Plus (オンプレミス /サブスクリ プション)	vSphere+™ Standard <sup>1</sup> (クラウド ベースサブス クリプション)	vSphere+™ <sup>1</sup> (クラウド ベースサブス クリプション)
vSphere Replication™ LAN または WAN 経由で、アレイに依存せずに仮想 マシンのデータを効率的にレプリケーションできる。 仮想マシン レベルでレプリケーションを実行できる ため、管理が簡素化される。	✓	✓	✓	✓	✓	✓
4K ネイティブ ストレージのサポート 大容量ドライブを活用してプラットフォームのスケー ラビリティを向上。設備投資コストを低減できる。	✓	✓	✓	✓	✓	✓
vSphere Quick Boot™ ハードウェアの初期化ステップを省略することで、 パッチ適用とアップグレードに要する時間を大幅に 短縮できる。	✓	✓	✓	✓	✓	✓
vCenter High Availability vCenter Server のネイティブな可用性。	vCenter STD が必要	vCenter STD が必要	✓	✓	✓	✓
vCenter Server のバックアップとリストア vCenter Server のネイティブなバックアップと リストア。	vCenter STD が必要	vCenter STD が必要	✓	✓	✓	✓
vCenter Server Appliance™ への移行 Windows に展開している既存の vCenter を vCenter Server Appliance にワンステップで移行 およびアップグレードするためのツール。	vCenter STD が必要	vCenter STD が必要	✓	✓	✓	✓

## ハイブリッドクラウドの機能

	vSphere® Standard™ (無期限 ライセンス)	vSphere® Enterprise Plus™ (無期限 ライセンス)	vSphere® Standard (オンプレミス /サブスクリ プション)	vSphere® Enterprise Plus (オンプレミス /サブスクリ プション)	vSphere+™ Standard¹ (クラウド ベースサブス クリプション)	vSphere+™¹ (クラウド ベースサブス クリプション)
vCenter ハイブリッド リンク モード オンプレミスの vCenter や、VMware Cloud on AWS などの vSphere ベースのクラウド上にある vCenter 全体を、包括的に可視化および管理できる。	✓	vCenter Server 間/ 長距離間/ クラウド間		vCenter Server 間/ 長距離間/ クラウド間		vCenter Server 間/ 長距離間/ クラウド間
vCenter 間でバージョンが混在する場合の プロビジョニング オンプレミスや vSphere ベースのパブリッククラウド環境間でバージョンの異なる vCenter を使用していても、vMotion、フルクローン、コールド マイグレーションなどのプロビジョニング操作をシームレスに実行できる。	vCenter Server STD が必要	vCenter Server STD が必要	✓	✓	✓	✓
クラウドへのホット マイグレーションと コールド マイグレーション ハイブリッドクラウド全体でワークロードのホット マイグレーションとコールド マイグレーションをサポート。	✓	✓	✓	✓	✓	✓
仮想マシン単位での Enhanced vMotion Compatibility クラスタ間での移行時やパワーサイクル時に仮想マシン単位で EVC モードを維持することで、ハイブリッドクラウド全体で異なる CPU 間でのシームレスな移行が可能。	✓	✓	✓	✓	✓	✓

1. vSphere+ 製品ラインは vSphere 7 と互換性があります。
2. NSX-T バージョン 3.2 以降が必要です。